

「生命科学関連政策・規制の国内外俯瞰」 概要

- 「ゲノム（ゲノム編集）」、「生殖医療・再生医療」、「遺伝子組換え」及び「科学技術に関する基本計画等におけるELSIの位置づけ」をテーマとし、政策・規制情報を収集し、その結果を俯瞰可能な形にまとめた。

- 分析軸：法令・規制等名、地域・国、発行者、発行年、議論や提言の主体、概要、経緯、改正の状況
- テーマごとに政策・規制の関係をあらわしたフローを時系列で作成。政策・規制等に関連すると考えられる主要技術との関係も整理。

- 分析結果：ヒトゲノム情報の活用は「ヘルシンキ宣言」の理念に基づき国際協調のもとでルールを策定。また、遺伝子組換えにおいてもカルタヘナ議定書をもとに各国が法令等を制定（米国を除く）。一方、生殖医療に関しては、各国が個別にルールを決定しており、その時期もまちまち。

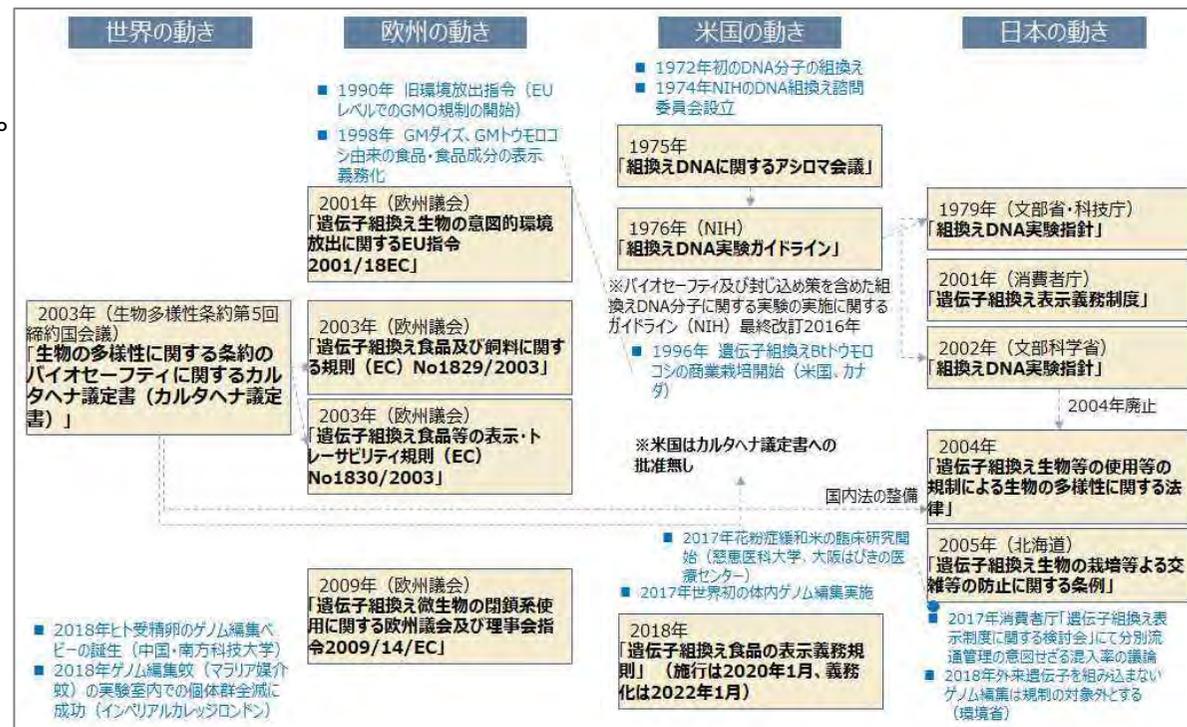
- **ゲノム**：ヘルシンキ宣言の理念に基づき法令等を策定。ゲノム編集技術の展開により新たなガイドラインを策定している。また、ゲノム編集技術の食品への利用に関しては、特に食品表示について、国際的な共通見解がまだできていない状況

- **ヒト胚研究**：基本的にヒトクローン胚の作成は禁止されているが、国ごとに議論

- **遺伝子組換え**：カルタヘナ議定書に基づき国際ルールに則り推進。ただし食品表示に関しては各国が個別に議論

「遺伝子組換え」における政策・規制のフロー

青字：特に注目すべきと考えられる技術的事象



本資料は、国立研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センターからの委託により、株式会社三菱総合研究所が調査を行った結果をまとめたものです。

本資料においては、調査によって得られた情報に関して考察を加えていますが、あくまで限定された視点に基づく一考察であり、必ずしも国立研究開発法人科学技術振興機構、社会技術研究開発センターおよび委託先の公式見解を示すものではありません。

また、本資料の掲載情報を利用して受けた一切の損害について、国立研究開発法人科学技術振興機構、社会技術研究開発センターおよび委託先は何ら責任を負うものではありません。